

令和元年度 第2回 高知市障害者計画等推進協議会 議事録

日時：令和2年3月2日（月）18時30分～20時00分

場所：総合あんしんセンター 3階 大会議室

（司会）

只今から令和元年度第2回高知市障害者計画等推進協議会を開催いたします。本日は皆様ご多用のところ、協議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。本日司会を務めさせていただきます障がい福祉課の野村と申します。どうぞよろしくお願いいいたします。本日ご欠席の連絡をいただいている委員の方をご報告いたします。資料の1ページをお開き下さい。委員名簿3番目の小川泰子様、4番目の小嶋友乃様、7番目の竹岡京子様、11番目の中森勇人様、17番目の山崎隆久様、18番目の山本博之様の6名の方がご欠席の連絡をいただいております。

それではまず、本日使用する資料の確認をさせていただきます。事前にお送りさせていただいております令和元年度第2回高知市障害者計画等推進協議会次第、令和元年度第2回高知市障害者計画等推進協議会資料、資料1令和2年度高知市障がいのある人の支援に関する調査票(案)、高知市地域福祉活動推進計画第2期(2019～2024年度版)概要版です。萌黄色の5枚つづりホッチキス留め「ほおっちょけん相談窓口」のチラシ、A4サイズ両面カラー刷で中段に「高知くらしつながらネット(Lico ネット)」と書いてあるチラシ。当日資料として配布しております障害者分野に関するニーズ調査についてとあります。お手元に資料がない方がいらっしゃいましたら挙手をお願いいたします。

ここで今回の推進協議会の開催趣旨を説明させていただきます。令和元年度第2回高知市障害者計画等推進協議会資料の2ページをご覧ください。今回の協議会では高知市障害者計画、高知市障害者福祉計画及び高知市障害児福祉計画の推進にあたり、高知市障害者計画等推進協議会条例第2条の第2号の障害者計画、障害福祉計画及び障害児福祉計画に基づく諸施策の進捗状況に関する事、第6号のその他障害者計画、障害福祉計画及び障害児福祉計画の推進に関する事の議定に基づく協議をしていただくために開催するものです。この推進協議会は情報公開の対象となっておりますので議事録を作成する関係上、ご発言の際にはまずお名前をおっしゃっていただき、その後ご発言をお願いいたします。それではここからは宇川会長に進行をお願いし、議事に入りたいと思います。宇川会長よろしくお願いいいたします。

（宇川会長）

失礼します。こんばんは。色々大変な時期になっておりますけれども、この推進協議会の方も来年度いよいよ策定を本格的にしていくということで、今日色々な協議事項ありますので、お休みの委員さんもいらっしゃいますが、一つ一つ丁寧にお話を聞きながら意見を出して計画していくための参考にして市の方にあげていく事が出来たらいいなと思いますのでぜひ積極的なご意見出していただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいいたします。それでは今日のタイムスケジュールが協議会次第の方を見ていただいて。まず1番目に高知市の障害者計画・障害福祉計画・障害児計画に係る取組についてということと地域連携体制の充実、高知市医療的ケア児及び重度の障害のある子どもの支援検討会を行った報告をしていただきたいと思います。その後それに関しての質疑の時間をとりたいと思います。その後、次期計画策定の体制スケジュール案についてまたその計画策定に向けたニーズの調査について、地域福祉活動

推進計画関連について等協議事項がございます。一つ一つ確認をしながら質疑応答やご意見頂戴したいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。それでは早速まず報告の方に入りたいと思っております。(1)の高知市障害者計画・障害福祉計画・障害児計画(平成30～32年度)に係る取組についてということで、4-1地域連携体制の充実、高知市医療的ケア児及び重度の障害のある子どもの支援検討会の報告等よろしくお願い申し上げます。

(子ども育成課 山本)

はい、子ども育成課山本と申します。本日はご多用の中ご出席いただきありがとうございます。では座って失礼いたします。私からはお手元の資料令和元年度第2回高知市障害者計画等推進協議会資料の6ページから8ページに沿って、令和2年1月9日に行いました高知市医療的ケア児及び重度の障害のある子どもの支援検討会についてご報告いたします。当支援検討会の目的につきましては、資料の通りですので割愛させていただきます。報告内容の方をご覧下さい。まず、医療的ケア児について具体的かつ明確な定義が定められていなかったため、高知市では今後の医療的ケア児の実態把握や支援の協議を行うにあたり、共通の認識を持つため仮案として記載の通り定義づけを行いました。医療的ケアの内容は高知県と準じて厚生労働省の内容に基づきますが、文部科学省の基準やその他の医療的ケアにも対応出来る様にその他の項目を追加しました。この仮案の定義につきましては、意見交換の中で病気や事故等によって18歳までに医療的ケアが日常的に必要な児とすれば除外される児が生じる事なく定義出来るのではないかというご意見をいただきましたので、これらのご意見を元に定義の修正を行う予定です。18歳未満の医療的ケア児数については報告内容をご覧下さい。意見交換では実態把握について、ニーズや課題の集約、災害支援等に繋げていくためには、医療的ケア児の全数把握の必要性があげられました。また、訪問型レスパイト事業の必要性については、半日までの短時間のレスパイトのニーズがある事があげられたとともに事業を導入するにあたっての人材確保の課題等があげられました。相談支援については平成31年度より新たに医療的ケア児等コーディネーターが養成された事もあり、その役割や行政の相談窓口の整備等の意見があげられました。災害支援については停電時の電源確保の課題を中心に、避難場所や支援が必要な人数の把握などの意見があげられました。これらの意見につきましては、高知市障害者計画等への反映を検討し、様々な状況に置かれている児や家族が必要な支援を受けられるよう努めていくこととします。また、令和2年度は年2回をめぐりに、本支援検討会を開催する予定です。以上で報告を終わります。

(宇川会長)

ありがとうございました。支援検討会は令和2年の1月9日に行われるよという事でそれのご報告という事でした。簡単ですけど、質疑の時間をとりたいと思っております。この報告に対して、もうちょっとここが知りたいなということがございましたら、ご意見いただけたらと思っております。竹島委員お願いします。

(竹島委員)

高知県難病連の竹島です、よろしくお願い申し上げます。報告内容の医療的ケア児の定義についてというところのその他のところですが、その他のところで人工膀胱、インスリン等の皮下注射とありますが、インスリンの一型糖尿病の子どもさんのことだと思いますけど、今医療費が無料になったということでインスリ

ンの皮下注射よりもポンプを付ける方、子どもさんがいますけども、その子どもさんも対象になるのかということ、それからその支援ですね。相談支援で医療的ケア児等コーディネーターの方がその子どもたちについてもコーディネートしてもらえるのかどうかということをお聞きしたいです。

(宇川会長)

はい、ありがとうございます。いかがでしょうか。

(子ども育成課 山本)

はい、子ども育成課からになります。まず一つ目、ポンプを付けているお子様の場合なんですけど、このその他の内容としましては自己注射できる子どもについて除かれています。自分で注射ができるので。この場で医療的ケアというのは、他の看護師さんとかがお手伝いしなければいけない医療的ケアになりますので、ポンプの場合でも看護師などの介助が必要な場合は医療的ケアのその他の範囲の中に入ってくるということになります。また、医療的ケア児等コーディネーターにつきましてもポンプのお子さんについて何か支援の手立てが必要な場合には適宜入っていくようになりますが、また医療機関から情報提供を受けまして保健師などがコーディネートしつつ、コーディネーターさんにも連絡をとというようなかたちになってくるとお思いますので、ポンプが必要なお子さんも必要があれば医療的ケア児等コーディネーター等も入ってくるようになってきます。以上です。

(竹島委員)

それでですね、その他っていう範囲はこの2つの病気というか方だけでしょうか。県の方に最近このインスリンポンプを付けているお子さんの入園についてご相談があったんですけど、高知市でなかったのので県の方に問い合わせしてみましたところ、コーディネーターは障害だけだということで県の方からは断られたんです。高知市の場合はそうではなくて、インスリンの方もしてくださると今回回答いただいたんですが、その他の難病の子どもさんたちについてはコーディネーターの方には関わっていただけるとでしょうか。

(宇川会長)

はい、よろしく申し上げます。

(子ども育成課 山本)

はい、子ども育成課からになります。医療的ケア児等コーディネーターの場合はですね、県が養成しているコーディネーターになりますので、高知市の方もそういう事例があった時に対応できるかどうかというところを聞くようなかたちに今はなっております。県の方がどのような役割を定義づけしていくことについては、まだ検討されている段階ではありますので、今この場ではっきりとした答えをお返しができないんですけれども、相談して決めていくことはできると思いますので、そういった事例があった場合には、ぜひ県だったり市町村の場合は市の方にご相談いただければ対応させていただきますのでよろしく申し上げます。

(宇川会長)

よろしいでしょうか、はい。他にお伺いしたいこと、ご審議になりたいことありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。それでは、ありがとうございます。では、1番の報告終わりたいと思います。続いて2番目の次期計画策定体制・スケジュール案についての説明よろしくをお願いします。

(健康福祉総務課 大黒)

健康福祉総務課大黒です。私からは資料の10ページ11ページに渡りまして令和2年度から4年度の高知市障害者計画等に関する策定体制及びスケジュールについてご説明をさせていただきます。着座にて失礼いたします。まず10ページをご覧ください。本日開催させていただいております障害者計画等推進協議会にて計画の素案及び原案の審議・了承をいただき、今回進捗管理等していただいているところになっております。次期計画につきましても、そのための計画素案・計画案につきましてはこちらの協議会の方でご審議・了承いただきたいと思います。そのための計画素案・計画案につきましては中段にございます健康福祉部・こども未来部の部内検討会で検討・策定していきたいと考えております。計画策定のためには、現状の把握や分析、課題検討というのが必要になってきますけども、10ページの下の方に書いております、後段で説明させていただきます、ニーズ調査や意見交換会に加え、日ごろ障がい福祉課が主催しております自立支援協議会や就労検討会、相談支援検討会、また先程報告させていただきました高知市医療的ケア児及び重度の障害のある子どもの支援検討会、こういった会でも出された意見や課題も踏まえてそれをまとめていって、計画の素案にしていきたいと考えております。

続きまして、11ページをご覧ください。来年度の計画策定に係るスケジュール案を示させていただいております。アンケート調査や意見交換会につきましては4月から7月までの間に順次実施をしていきたいと考えております。来年度につきましては、この推進協議会は5回開催を予定しております、第1回目を5月頃の開催予定とし、その時に国の動向や次期計画の方向性についてご報告、協議ができればと思っております。以降、順次調査の結果、素案等をご審議いただきまして、最終、令和3年2月を予定しておりますけども、第5回推進協議会にて新計画原案のご承認をいただきたいと思います。策定体制とスケジュールについては以上になります。

(宇川会長)

ありがとうございます。10ページの下の方に色々な検討会の名前が出ておりますけども、この色々な検討会が本日主導で動いております。これらを踏まえて、計画を策定していくということでよろしいですね。右のページで令和2年度のスケジュールが提案されております。このような流れで進んでいくということになっていくと思いますが、承認をいただかなければという話が出ておりますが、これについては10ページの下ですね、ニーズ調査という部分が入っておりますので、次の3番の次期計画策定に向けたニーズ調査についての説明をしていただいて、順次意見交換をしていながら最終的に承認していかうかなと思います。まずは3番の次期計画策定に向けたニーズ調査について説明をいただきたいと思います。どうぞよろしくをお願いします。

(障がい福祉課 黒岩係長)

こんばんは、障がい福祉課黒岩です。私からはニーズ調査3種類を事務局で考えておりますのでご説明

をさせていただきます。次第の方に3種類①から③までのニーズ調査を考えておるんですけども、既存の会なんかもたくさんやっておる中でこの計画策定については既存の会に加えてこの3領域でのニーズ調査ができないだろうかというふうに考えております。それでは領域ごとに説明させていただきますので、資料の14ページをお願いいたします。まず、1つ目についてですが、身体障害者、知的障害者を対象とした調査についてです。現在の計画策定に関しても3年前にアンケートを実施したところですけども、今回についても同規模のアンケートを実施予定にしております。本日は前回の調査結果もご紹介しつつ、今回の調査についてご説明させていただきますので、16ページお願いします。前回の調査内容といたしましては施設入居者を除く2,500名の方を無作為抽出してアンケートをしております。52%の方から回答を得ております。17ページはその回答のあった方の一般事項について集計したものですので説明は省略させていただきます。続きまして18ページをお願いいたします。③のところでは支援や介護が必要かどうかその有無について質問したのち主介護者の状況について聞いております。主介護者としては父母、配偶者等が多いという結果になっております。またその主介護者の身体的、精神的・主観的健康状態について③-3の所で聞いております。それぞれ6割を超える方がおおむね良好という回答結果でした。ただし③-4にあります通り、対象となる障害者の年齢区分が上昇するにつれ、主介護者の主観的健康状態は悪くなっている傾向にあったと結果でございました。続きまして19ページですが、相談状況について尋ねています。何らかの相談があるといった方は、相談先がある方は8割だったんですが、その④-2でその相談先の満足度について問いましたところ87%の方がおおむね満足という回答結果でございました。続いて20ページになります。就労についての説明をしております。⑤のところでは就労有無について聞いたところ、それぞれ半数という結果でした。その他には就労先、就労期間、賃金、就労先での相談先について設問した結果を掲載しておりますのでご覧下さい。続きまして22ページをお願いいたします。こちらでは何らかの福祉サービスの利用状況について質問しております。利用している方が30%という結果でした。その福祉サービスを利用している方の満足度を問うたところ、おおむね満足という回答が約8割でした。福祉サービスを利用していないと回答された方についてはなぜ利用していないかという理由について聞いております。続きまして23ページです。こちらでは防災意識に関する項目を聞いております。ご自宅の建築年、津波浸水の地域かどうか、避難場所を決めているかどうかといった設問を前回は聞いております。今回についても重点的に聞きたい項目と考えております。続きまして24ページお願いします。今後進めていくべきもので必要なものは何かという質問をしたところ、全体の回答で最も多かったのが在宅サービスの充実という結果になっていたんですけども、手帳の所持別で分析をしますと、障害特性に応じたニーズが示唆された結果になっておりました。続いて25ページですが、自分らしく暮らせているかどうかという質問について72%の方がおおむねそう思う、24%の方がおおむねそう思わないという回答結果でございました。これが前回の調査結果の内容でございます。

続きまして27ページお聞き下さい。それともう1点、別綴じになっております右上に資料1と印字した調査票案を合わせてご覧下さい。今回考えているアンケートにつきましては、対象者2,500名、調査時期についてもおおむね3年前と同規模で実施したいと考えております。次に前回の調査から変更していく点についてですが、制度改正があったり当時の聞き方にちょっとそぐわない部分につきましては、聞き方を変えています。例えば資料1の1ページ問2男女の質問なんですけど、例えばここにある「答えたくない」というような選択肢の追加を考えております。資料1の方を順にご覧いただきますと、特に注釈がないところは前回と同じ質問を考えております。資料1のページ4をお願いします。問8となっていると

こがありますけれども、ここは今回新設をしたいと考えている項目です。医療的ケアの状況について何らかのケアが必要かどうか、そしてそのケアの内容は何かといったところを聞きたいと思えます。それは色々クロス集計をする時に医療的ケアが必要な方か否かで何か傾向に差があるかといった分析に活用していくとか、防災に関しての差を見ていくとかそういうのに活用したいと考えております。

続きまして資料1の11ページを開きまして問17という所がございます。災害時についての調査に今回加えたいところが問17になっておりまして、災害時の備え・準備をしているかどうか、どういった事を行っているかという設問。またそういった備えをしていない方についてはどうしてかといった意識調査を行って災害対策支援について何か必要な物はないかというのを模索したいと思っております。同じく資料1のページ12をお願いします。問18・19についても新設項目で考えております。成年後見制度についてです。現在、国が成年後見の関係法律を作っておりまして、今後、市町村が成年後見の利用促進を図る計画を作るというふうになっております。その基礎資料としましても、まずこの制度の周知度かどうか、利用意向はどうか、利用支障要因については何かといったことを把握して、今後検討を深めていく資料にして活用したいと考えております。以上で1個目の身体障害者、知的障害者のアンケート調査についての報告を終えます。

続きまして本日机上配布しておりました障害児分野に関するニーズ調査についての裏面をお開き下さい。障害児分野につきましては、アンケートのような市民からご意見を伺うというかたちではなくて、当事者や関係者を含めた行政と皆さんが話し合っより具体的な実態やニーズを把握する目的で意見交換会の形で開催できないかと考えております。そこにあります通り、対象となる方は高知市が所管しているひまわり園という通所施設があるんですけども、その利用保護者、あとゆったりっこという事業を使っている保護者及び保育所とか障害児の福祉サービスを提供している事業所の方にお集まり頂きまして検討を深めたいと思っております。その深める内容としましては子どもの個々の発達に応じてどのような支援が必要かどうか、早期発見・早期療育を含めた保健福祉サービスについてどういったものが必要かというような意見交換会を実施予定です。以上で2つ目の障害児分野についてのニーズ調査の報告でした。

資料が飛んで申し訳ないですが、また冊子の方の資料に戻っていただきまして30ページをお願いいたします。3つ目は精神障害者分野についてのニーズ調査です。精神障害のある方については郵送によるアンケート調査では対象者が混乱するなどの状況が予測されますので、現在の計画を作る時も意見交換会という形で実施したところでした。今回の意見交換会につきましては「地域いこうかい」というですね、これも既存の会があるんですけども、そこに参加していただいている精神障害の当事者、ご家族、保健医療福祉関係者の皆さまにお集まりいただきまして、内容といたしましては医療福祉サービスの状況や地域に発信したいこと、または知ってもらいたいことは何かといったことの意味を頂戴して計画作成に活かしていきたいと考えております。この地域いこうかいというところの補足なんですけども、既存の会で平成27年度から研修や事例検討などを通して高知市における精神障害者保健福祉に係る課題を共有する場として設置をしております。これまでもさまざまな機関の皆さまに参加していただきまして、その延長でこの意見交換会を開くことで、より議論が深まる課題の抽出や解決に繋がる施策を選べると考えております。いただいたご意見を次期計画に反映させ精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築をめざしていきたいと考えております。これが3つ目のニーズ調査でございます。ただ今ご説明した3つのニーズ調査を実施し、例えば前回結果と比較をしたり、また新たな課題などについて把握し

たうえで次期計画策定に活かしていきたいと考えております。委員の皆様にはこのニーズ調査について本日ご協議していただき、ご意見を踏まえ来年度すぐ調査に取り掛かりたいと思っておりますのでご協議よろしくお願いたします。事務局説明は以上です。

(宇川会長)

ありがとうございました。3番のニーズ調査についてというところで3点お話しいただきました。今、すでに行われている各分野の検討会があり、そこから意見の収集に加えて、ニーズ調査としてアンケート実施したうえで当事者さん、家族の皆さん、関係機関その福祉関係の関係者の皆さんの意見を直接伺いながら策定を進めていくというところでもよろしいですかね。はい、ありがとうございます。今、お話いただいたご説明をもとにこれから質疑応答または意見交換していきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。進め方についてはそれぞれ1番、2番、3番について質疑かご意見いただきながら進めて、最後まとめて1、2、3振り返りながら全体的な意見をいただいたらいいかなと思っておりますのでよろしくお願いたします。ではまず①に出ておりました資料15ページから前回調査結果の抜粋というところがありますけれどこの1番、障害がある人の支援に関する調査のについてのご報告についてご意見またご質問ありましたらお願できたらと思えます。よろしくお願いたします。色々資料・結果の読み込む時間を5分程ちょっと資料の方をご覧になっていただけたらと思えます。また5分後ぐらいに声をかけさせていただきたいと思えます。

(宇川会長)

はい、そろそろちょっと時間がいるかもしれませんが、まず1番の障害がある人の支援に関する調査についての報告について何かご質問ご意見ありましたらお願いたします。お願いたします。

(竹島委員)

高知県難病連の竹島です。この1はこの調査の結果と次の調査の内容も含めて構いませんか。

(宇川会長)

そうですね。1でもし何かありましたら。2もこの後進めていきますので特に今のところ1がそうでなければ2も含めていきましょうか。

(竹島委員)

この調査の報告という、前回の調査の報告の結果と次回のアンケートについてですが、次の支援に関する調査票の4ページに追加質問で人工呼吸器だとかいうことが出ています。そのケアは誰が行っていますかというところに丸をすところがあるんですが、人工呼吸器とか電源を必要としている方がいるかと思えます。最後の方で何が必要かという準備しているものというところに自家発電機とかってありますが、実際にこのケアする方が自家発電機をつけられないっていう方が自宅に購入しているけども使えないという方がいたりとか、それから色んなことで購入できないという方がいますが、自家発電機の貸し出しなんかはしてますでしょうか。

(宇川会長)

はい、いかがでしょうか。

(障がい福祉課 大中室長)

障がい福祉課の大中です。自家発電機の貸し出しについては高知市の方ではやっていないんです。

(宇川会長)

よろしいでしょうか。はい、それでは進めていきますが、本日欠席されています小嶋委員さんからご意見を頂いています。そのあたりもちょっと踏まえて、1番の方進めておりますが、2番も入ってきましたので、2番の調査票についてのご意見ご感想頂いておりますからちょっと紹介したいと思います。

1つ目、回答枚数の分量が13枚は多いかなというのが正直ですというのが一つあります。それと続いて、内容はどれも重要なものにあたるため、削るのではなく回答方法や手段にもう少し配慮があると良いなという印象を受けました。視覚障害の方とか肢体不自由の方へのより多くの回答をいただくというのを想定すると、ご自分で回答が難しい場合等があると思います。この場合、代筆も考えられますがそのままになっていつもあるのではないかな、もったいないのではないかなという気がしますというご意見いただいています。このパソコンとかスマホより回答が可能なことも最近出てきておりますので、そういうのも導入すると回答率が高いだけでなく、バリアフリーの観点からも良いのではないかという意見があります。障害の中でも限定的な話に当たるかもしれませんが、多種多様な声を聞ける、唯一の機会でもあるはずなので、次回以降とか、もし可能であれば今回可能であれば郵送以外の回答方法についてもご検討いただけたら良いかなというご意見をいただいております。回答率を上げていくためには、広報とかお知らせも必要。小嶋委員自身、障害当事者に生まれて必要とされている方、就学児童、保護者の方との繋がりを書いております。例えば、SNSなどでお知らせをさせていただくことは可能ですかと、いつごろからそういうのが可能なのか。無作為にということなので、届きましたらご協力お願いしますという程度でありますけれども、小嶋委員からもそういうふうなことに協力ができたらということになっております。アンケートが実施されることはありがたく嬉しく思っていますということです。防災の項目について、平成29年度のアンケートにありますけど、障害当事者の視点で防災活動されている方から非常に役に立つデータですねというお声を頂戴しているというふうにいただいております。なので、その方に健康福祉総務課さんの平成29年度第2回高知市障害者計画推進協議会の資料をお教えしていますという意見をいただいております。結構色々ご意見いただいておりますが、ご担当に引き継いでいただきたいと思います。引き続き、またご意見いただきたいと思います。今1番のお話しをさせていただきましたけど、2番の方も入っております。障害児分野に関するニーズ調査、別紙の資料1になっておりますけど、またこの辺りについても含めてご意見いただきたいと思います。松尾委員お願いいたします。

(松尾委員)

松尾です。内容ではないのですが、質問です。この調査票の問の2です。あなたは男性ですか？女性ですか？3番目に「答えたくない」という項目がありますが、これは純粹に男女関係ないよねという意味の答えたくないという意味なのか、それともLGBTやXジェンダーを頭においてのこの答えたくないという言葉でしょうか？



(障がい福祉課 大中室長)

障がい福祉課の大中です。どちらかといいますと松尾委員がおっしゃった後者の方を想定しての選択肢の追加という事になります。性的少数者に配慮した形で選択肢を追加いたしました。

(宇川会長)

はい、ありがとうございます。よろしいでしょうか？はい、お願いします。

(松尾委員)

やはり、性的少数者に対して私はよく分かりませんが、それを意図しての言葉であれば、なんか「答えたくない」という言葉が何となくこう、私は引かかかってしまいます。いかにも、なんかあの、否定的な意味合いを感じてしまいますが、これに変わる言葉があっても良いかなと思いました。

(障がい福祉課 大中室長)

障がい福祉課の大中です。私どももちょっと色んな調査を参考にしながら、案というのを作成したところなんですけど、委員さんの中でこういう選択肢の表現が良いじゃないかっていうご意見がございましたらぜひ、お聞きかせただけたらと思います。よろしくお願いします。

(宇川会長)

はい、ありがとうございます。この件について、なにか表現とか。はい、竹島委員お願いします。

(竹島委員)

「答えたくない」というのは確かにどうかと思いますけども。結果のほうですよ、無回答ってありますよね。無回答ってところは答えたくないというふうに解釈してもいいんですね。3番目除けて1・2だけで、そちらの方が何となく無回答ということだと答えなくなかったという解釈で良いですか。

(障がい福祉課 大中室長)

障がい福祉課大中です。前回の調査時においては、男性・女性という2つの選択肢だけでしたので、無回答という結果として、「答えたくない」という風に解釈になると思います。

(河内副会長)

高知県立大学の河内です。松尾委員のご指摘は答えたいのだけど、選択肢がないという事がないでしょうかということだと思います。そもそも答えたくないじゃない、答えたいけど自分の思う選択肢がないとそのときどうしたら良いんだということ。割と調査に良いかどうか分からないけど、これも最近の流行は「3. その他」みたいな書き方をしています。参考までに。以上です。

(宇川会長)

ありがとうございます。また参考にされて策定お願いしたいと思います。進んでいきたいと思います。

他にこの1, 2の項目で。松本委員お願いします。

(松本委員)

今、急にですね、今年になって3人くらいのこういった、自分は女性だけれども心は男性だって過ごしてきた方やその逆の方もいます。それはですね、私どもは心は男性で、そういった時は私どもはその人を男性というかたちです。就労の応援を企業にもそのところは理解してもらおう。また、その反対に女性として生きていきたいというかたちで、それを私どもも女性というかたちで就労相談を受けております。これは1, 2で、そういった時は1, 2の中で堂々と言ったらいんじゃないかなと思うんですけど、その分確かに迷っている方というのは今まで3人あったんですけども、迷っている方というのはちょっと見当たらなかったですね。以上です。

(宇川会長)

はい、ありがとうございます。実際に対応されている中でそういうケースがあるという事で。

(松本委員)

企業も理解してくれています。就労支援のシャインの松本です。

(宇川会長)

ありがとうございます。企業さんの方も理解を進めているということで、ありがとうございます。他に意見を聞かせていただきたいと思います。西岡委員お願いします。

(西岡委員)

高知ハビリテーリングセンターの西岡です。意見というよりも精神分野の方で、地域いこうかいの意見交換会をということで案が出ているんですけども、やはり私、精神障害者の人にも災害に対する備えっていうところをぜひ聞いていただいてニーズ調査をしていただきたいなって正直思っています。疾病と障害の両輪を持っている人たちが災害にあったときに、どんな行動をとるのかとかどんな想定ができていいのか、私は危機的状況が起こったときにお薬の必要性だったり自分がどんな人に頼っていけばいいかとか、いうところ理解しているかとか、その辺の障害者の方たちだから災害に備えている意識づけっていうところを少しニーズ調査していただくと、また何か新しい展開ができるんじゃないかなと思っていますので、ぜひそれを取り入れていただけたらと思っています。

(宇川会長)

はい、ありがとうございます。他に。はい。

(健康増進課 山崎係長)

さきほどの精神分野のニーズ調査についてご意見ありがとうございます。健康増進課の山崎です。今、日程出しているんですけどもぜひ災害についても意見交換ということでこの枠に入れるように検討したいと思います。ご意見ありがとうございます。

(宇川会長)

はい、ありがとうございます。はい、よろしくお願いします。

(中西委員)

高知市社協の中西です。この事前に資料を見させていただいたときに16ページの調査概要のところ対象の方が精神がちょっとなかったのが、これなんでかなって単純に疑問に思ったんですけども、今日の説明を聞いてそこは理解できたんですけど、この質問票、別紙資料1のところ見たときに、問4で精神保健福祉手帳の所持っているのが出ておるんですが、ここの整合性というかそこがちょっと分からなかったのと、そこに精神障害手帳があるとすれば、問3のところでもここにも精神障害の文言があっても良いのではないかなというふうに思ったことでした。はい、以上です。

(宇川会長)

はい、ありがとうございます。いかがでしょうか。

(障がい福祉課 黒岩係長)

障がい福祉課の黒岩です。中西委員ありがとうございました。問4で精神の手帳を問うているのは、抜本的な手帳と重複で持っている人がいらっしゃるかどうかを聞きたかったということですが、問3の矛盾というのはその通りだと思いますので、問3の回答選択肢については一度検討させていただきます。ありがとうございました。

(宇川会長)

はい、ありがとうございました。他に気が付きましたことを、ちょっと感じたことでも結構ですのでどんどん出していただけたら計画の策定に反映していけるかなと思っております。はい、よろしくお願いします。

(中西委員)

続いてになりますけども、資料の24ページに今後進めていくべきものということで、ニーズ調査を兼ねてます。ここで一番多いのが在宅福祉サービスの充実、一番下にバリアフリーの推進というので他にもニーズが多いものがあるんですけど、これをあんまり今回のニーズ調査票でいうと結果が一緒のものになっていてもう少し深掘りができないのかな、何を本当に困っているのかというのが見えた方が良いのではないかなというふうに思ったところでした。

(宇川会長)

はい、ありがとうございました。いかがでしょうか。

(障がい福祉課 大中室長)

障がい福祉課の大中です。またご意見として検討させていただきます。

(宇川会長)

はい、ありがとうございます。他にございませんでしょうか。はい、西岡委員お願いします。

(西岡委員)

すいません、すごく素朴な疑問なんですけど、西岡です。高次脳機能障害の人の対象がどこにくるのか、身体の手帳であるのか、精神の手帳になっちゃうんですけど、精神の方の中に聞き取りのニーズのところでは、地域いこうかいは高次脳機能障害の人は対象ではなくってところなので、多分その狭間の障害が、少し見えてきたんじゃないかなというところが少し疑問です。

(障がい福祉課 黒岩係長)

障がい福祉課黒岩です。高次脳機能障害の方は、身体障害者手帳持ってらっしゃる方の一部か、精神手帳持っている方の一部かで確かに狭間になるというような指摘通りだと思います。そのすべての障害を今回の3領域でカバーできるとは思ってなくて、例えば発達障害なんかもこぼれると思うのでそれは既存の会とかですね、県の高次脳機能障害検討会に市もメンバーとして入ってますので、そういったところもご意見を少数であってもですね、ご意見を反映できるように努力したいと思います。ありがとうございました。

(河内副会長)

すみません、関連して高知県立大学の河内です。資料1の問3の質問で、1は身体障害者を細分化して視覚・聴覚・肢体不自由というような書き方をしてると思います。例えばこの発達障害という括りにいろいろあると、これも例えばこの中で細分化していくと、高次脳機能障害の方がどのくらい回答されたとか、単に拾えればそれはそれでとなるかもしれませんが、拾えなかったら拾えなかったでニーズをすくい上げる必要性があるっていうようになるかと思うので、ちょっとその工夫ができるかできないかは、関連として意見を出させていただきます。以上です。

(宇川会長)

はい、ありがとうございます。またぜひよろしく願いいたします。はい、中屋委員お願いいたします。

(中屋委員)

身体障害者連合会の中屋です。この調査票のなかで「満足ですか」「不満足ですか」という項目があるんですけど、満足は聞かなくていいんですけど不満足の原因って聞きたくありませんか。例えばサービスのところだったかな。不満があるならば訳を聞いた方がよくないかなとか思ったりもするんですよ。それと、僕当事者団体なので障害者団体を含む自主活動に集まりますかっていう、していないってところにも理由も欲しいですね。なんかそういう設問があれば嬉しいなというふうに思ったんですけど。

(障がい福祉課 大中室長)

障がい福祉課の大中です。全体調査でですね、サービスを利用していないと答えた方の中で、必要性が

ないと答えた方がかなり多数いらっしゃいました。今回内部で協議する中で、必要性が無いと言うところを、少し掘り下げてみてはどうかということで、今回問 13-5 という設問を加えさせていただきました。中屋委員のおっしゃる通り満足してないとか、その背景の中身を深めるといのもおっしゃる通りなんですけれども、最初の小嶋委員の質問の中に出てきたと思うんですが、質問数を増やすとですねどうしても、回答枚数というところが多くなってしまいます。回答枚数が増えることでですね、結果的に回答率が下がるということに繋がってもいけませんので、そこら辺のバランスを考えながらですね、もう一度検討させていただけたらというふうに思っています。

(宇川会長)

ありがとうございます。よろしいでしょうか。不満とか意見なんかもすごく大事な事だと思いますので、また作成していくにあたって色々検討して頂いて反映させていただきたいと思います。他にご意見はないでしょうか。石元委員何かないでしょうか。

(石元委員)

MIRAIZ 石元です。先ほどからお話にあったアンケートの分の、男性女性答えたくないという話があったんですけど、私そこにあまり引っ掛からなくてそれよりその後の4ページの、介護者が配偶者で夫か妻かって答えるところがあった。そんなの矛盾してるんじゃないかと。すぐ男女かは答えたくないのに配偶者が夫って書いたら自分妻やんって分かってしまうような質問の仕方って配慮してるのじゃないやないかなって思ってしまったんですけど。確かにいろんな人たちが増えてきたので、配慮が必要であったり、色々気を使ってるなって思われることがあるんですけど、やっぱり読んでいたり該当する人は少なくともいるわけですから、こんなには書けないっていうことを思ったり、ここには自分が入っていない、含まれていない、表現の中に含まれていないっていうふうを感じる人も確かにおいでるんじゃないかと思うので、その辺は難しいところだなと思います。ただ、基礎となるアンケートをしてその上に作り上げていくものですから何か文言の捉え方とか、色んなことで皆さんがアンケートに、答えづらいついていうのがあれば、困りますけど、やはりアンケート繰り返しながら、進めていけたら良いかなと思っております。以上です。

(宇川会長)

はい、ありがとうございます。作成していくうえで皆さんが回答している自分のことを聞いてもらっているみたいな中身になってきたら良いのかなと思います。松尾委員お願いします。

(松尾委員)

松尾です。全くの勉強不足で今さらながらの質問です。精神分野については地域いこうかいで意見交換会をするところにのっております。この地域いこうかいというのを私はよく知らなくてですね、ここに内容についての説明はあるんですけども、具体的にどのような方が委員さんになっていらっしゃるのか、年に何回ぐらいやっているのか、もう少しその内容等を具体的な事を教えていただきたいです。

(健康増進課 山崎係長)

健康増進課の山崎です。ご質問ありがとうございます。今の障害者計画の方の34ページにも少しこの会議の事については触れているんですけども、平成27年からスタートしている会議で、当初は医療機関の精神科病院の相談室の方、それから看護師さんなんかを中心に声をかけさせて頂いて、精神障害者地域移行支援者会議というのが正式な名称になりますので、これについて地域移行を進めていく上での課題っていうところを一緒に検討していく場として平成27年にスタートしました。その中で研修会をやったりだとか、事例検討会なんかを実施をしています。で、事例検討会を通して地域移行における課題だとか地域定着における課題なんかも一緒に検討していく場となっています。特に委員というふうな事の役割ではなくて、その回に合わせて皆さんにお声をかけさせて頂いていますので、特に誰が来てはだめというふうな会ではありません。今回はこの地域いこうかいというふうな形ですので、意見交換会をこの機会を通して実施をしたいと思っております、実際に当事者の方であるとか、それから今回家族会の高知市の家族連の方にも声をかけさせて頂いて参加をお願いしたいと思っておりますし、先ほど言いました医療だけではなくて地域の福祉の機関にも声をかけさせて頂いて、色々な方に集まっていただいてそういった課題を検討する機会というふうにしていますのでまたその時には是非ご協力をお願いしたいと思っております。お答えになってますでしょうか。

(宇川会長)

はい、ありがとうございます。よろしいでしょうか。精神障害分野の地域いこうかいのお話も入ってきましたので3番の内容にも入っていったのかと思います。1番、2番、3番通してご意見をいただけたらと思いますので。田所委員さん何かご意見をいただけたらと思います。

(田所委員)

民生委員の田所です。よろしくお願ひします。まだ障害者のことはあんまり分からないことが多いんですけど、これはアンケートによって気になるじゃないけど18ページにあります生活するうえで支援が必要かという回答で「不必要」に回答の方が半分以上いるというのはすごいことじゃないかなと思って感心じゃないけど、僕から見たら支援がというのがもうちょっとありそうな気がしたんですけど割合「不必要」という人が回答率があるというのはどういうことなのかなという気もしたりして、分かる人がいればぜひ。

(宇川会長)

はい、よろしくお願ひします。

(障がい福祉課 黒岩係長)

はい、ありがとうございます。障がい福祉課の黒岩です。説明の4ページ(資料17ページ)の調査結果の一般事項というところをご覧いただけますか。回答者の属性とか障害名・診断名という前回の調査結果です。身体障害者手帳をお持ちの方は1万6千人くらいいらっしゃるんですけど、7割が65歳以上の高齢者です。前回の調査では18歳~64歳の方により絞って調査票を送ってます。対象の方が若い65歳未満の方が大半に送っていた調査であることと②にあります通り肢体不自由の方が37%、内部障害が31%というふうな感じに今回の回答者はこういう分布になっています。一般的にですけど、内部障害は

心臓・腎臓・肝臓・膀胱・直腸といった内臓の障害の方であるんですけども、その中では支援が全く必要がない障害者もいらっしゃいます。でありますとか、肢体不自由の方であっても、例えば足を切断して義足を付けることで何ら自立した生活をしてらっしゃるといのはお方お方で全然違うので、今回の回答のあった母集団に対しては3割だったというのがあまり不思議ではないといえますか。ただ本人の申し出なのでこれがどこまで本当かどうかはこの数字だけでは分からない所はあると思います。以上です。

(宇川会長)

はい、ありがとうございます。よろしいでしょうか。

調査結果その他別紙のアンケートと障害児分野の今後の意見交換会の予定と精神分野の地域いこうかの意見交換会としてというテーマが出されております。伺っておきたいこと、ご意見よろしいですか。はい、先生以上です。

(河内副会長)

高知県立大学の河内です。意見だけすみません。回収率が52.0%というのはすごいことです。調査をやっているとだいたい20%台が一般的な見解です。言い方を変えれば、かなりこの調査に対する期待というのが障害のあるご本人さんから大きいものなんではないかなという解釈をします。この結果というのは何か公表したりとかされているのでしょうか。その調査をした側へのリプライというのはどうなっているのかというのは1点確認したいです。

(障がい福祉課 黒岩係長)

障がい福祉課、黒岩です。回答して頂いた方に直接結果をお伝えすることはできておりません。推進協議会の中で報告をさせていただいた議事録として集計結果が公表されている状態です。何かあればアドバイスお願いします。

(河内副会長)

何かダイジェスト版を出すことは差支えはあるのでしょうかね。ないですかね。調査票とかに前回調査をしてここ見たらこれが分かるよとか、何かちゃんとこの調査やったことは結果としてまとめられて、これが活かされているんだっていうことを何か一文、表にでも良いですし書いていただくと、母集団が16,000なので前回答した人が今度回答するというわけではないんですけどこれがどう活かされるかというのを見える形で表文を工夫できないかなというのは1点です。これも意見です。もう1点ですけど、やはり障害のある方何か有事があったときとか困ったときにまず一番に光が当たってほしい、これは理念レベルですけどそう思います。今回新型コロナウイルスがあって色々学校とかも対応をしているっていうのがあるんですけど、逆に特別支援学級でスペシャルなニーズがある方が困っているんじゃないかっていうことも想定できますし、それに付随して今回事業所の方なんかは出られてないことなんかもあるかと思えます。最後にお困りのことが何かあったらって自由記述がありますけど、この書き方ではなくて今回のコロナウイルスの事でこれだけ大規模な調査をされますので、何か困ったこととか、そういうのがこの自由記述で構わないのでちょっと四角で構わないと思うので何か困りごとがあれば施策形成の反映にしたいし何か有事というか社会が機能しないときに一番そのあたりは露呈してきますし、今後

参考になるかもしれませんが一文あってもいいのかな。本来の趣旨，調査の目的と外れるという議論もあるかと思いますが，意見として一点添えさせていただきます。以上です。

(宇川会長)

はい，ありがとうございます。よろしいでしょうか。そうですね，その結果どうしているのか前回の結果ここ見てくださいますとか，書かれている質問の送り状のところについてこの結果がアップするのでそれを参考にご覧になってくださいますとかがあってもいいかもしれません。はい，有事のことも確かにそうかもしれません。本校も今日から休校になりまして木曜日の晩にお話があつて金曜日が最終日で今日からお休みになってというかたちでバタバタしている状況ですけど，色々地震とか今後のことを想定するとさっきも貴重なご意見かなと思います。参考にしていただければと思います。はい，松尾委員お願いいたします。

(松尾委員)

はい，松尾です。補足ですけれども，有事に今回のコロナのことについてとありましたので，ぜひ一言今回のコロナのことで思うことがあるということ等々書いてもらっても良いかと思います。と言いますのは，身体障害者の人がコロナウイルスにかかってしまったとなったとき，隔離病棟に行ったにしてもヘルパーさんのお世話をしなくてはならないと必要となる場合もあつたりするかもしれませんし，もしかしたら知的障害のある人たちにとってあつた場合，ちゃんとドクターとの間を取り持つきちんと説明できる人が必要だつたりする場合ももしかしたらありうるかなと思いました。

(宇川会長)

はい，ありがとうございます。また貴重なご意見ですから参考にしていただいて，策定の方進めていただけたらと思います。他にないでしょうか。また来年度進めていくなかで何かありましたらご意見出しながら策定を進めていくことができたらいかなと思います。ここまで1・2・3の内容について協議をしてまいりました。これを踏まえて次期計画策定の体制・スケジュール案について，戻って行って，一応この流れということでおさえさせていただいて承認いただけたらと思います。今，それぞれの委員さんがご意見出していただいたものを参考にしてこれから策定を進めていくということです。それに向けたスケジュールが提案されております。次年度に向けてまた，協議会の日程，意見交換会の日程とか提案されております。来年度，今後に向けて来年度の流れとしてこのようなかたちで進めさせていただくところをご了承いただけますでしょうか。よろしいですか，はい。異議なしということで協議会としては，このスケジュールの方進めていくということ承認させていただくということ進めたいと思います。よろしくをお願いいたします。それではちょっと早いタイムスケジュールで進んでおりますが，3番の次期計画策定に向けたニーズ調査について並びに，次期計画策定体制・スケジュール案について終わりたいと思います。

続きまして，4番目になります。4番目じゃないですね大きい3番になりますね。地域福祉活動推進計画関連について進めていきたいと思つています。こちらから担当の福祉課にお話を譲りたいと思つています。よろしくをお願いいたします。



(健康福祉総務課 大北課長)

健康福祉総務課の大北と言います。委員の皆さまお疲れのところ恐縮ではございますけれども、私の方から会次第の3番、地域福祉に関連いたしまして今年度新たに始まった取組事項がございます。2点委員の皆様にご報告させていただきます。よろしくお願いいたします。

資料の方ですけど、34ページをお願いいたします。我々、高知市のほうが昨年3月に高知市社会福祉協議会さんと協働いたしまして、第2期となる地域福祉活動推進計画を策定いたしました。現在、その計画に基づいて取組を進めているところです。今年度新たに始まった取組といたしまして、34ページ一番上のタイトルがございます、ほおっちょけん相談窓口ということで、地域住民の皆様のお身近な圏域にお困りごとを聞くそういった相談窓口を開設しております。この相談窓口ですけど、一番上にあります通り従前ですと家族ですとか隣近所の助け合いで解決をできておったような困りごとがですね、近年、社会的な孤立ですとか地域活動における人間関係の希薄化などといった要因がありますけれども、なかなかあなたにも相談できずに孤立をしまっている方がいらっしやると。こういった事態も踏まえまして、気軽にご相談をいただきまして、その中身に依じて必要な支援機関に繋げていくというそういう初期対応をしていただく役割を担っていただくということでこの窓口の開設をしたというところでございます。開設の時期ですけども、右下にございますが昨年11月5日開設ということで、左下にありますけれども開設箇所数がですね、諸条件が揃った地域からモデル的に導入いたしております、5地区27箇所を現時点において開設をしているところです。相談窓口につきましては第2期計画の数値目標にも盛り込んでおりまして、今後、全市的に取組の拡大をしていく考えでございます。相談件数の方ですけども、左下にあります通り1月末現在18件と若干知名度不足の点もございまして、地元紙には幾度となく取り上げていただいているところですけども、件数の伸びについてはこれから伸びていくと考えております。この窓口にお寄せいただいている内容ですけども、右下にございますけれども、ご覧いただきますと分かる通り本当に従前の公的支援の枠組みにとどまらず本当に生活上の困りごとに関するそんな事項がお寄せいただいているということでございます。こちらまず第1点今年度から新しく始まった取り組みです。

2点目ですけども、36ページの資料をお願いいたします。今年度新たに始めた取組といたしまして、高知くらしつなごネットという情報サイトを我々立ち上げをいたしまして、今年の1月31日から正式運用を始めたというところです。この情報サイト、こういった内容かと申し上げますと、上の方に書いております市内にあります医療・介護・障害・子育て・地域資源、ボランティアですね、こういった5つの領域の資源情報を情報の一元化を行いまして、インターネット上で地図上で一目で確認できる仕組みとなっております。皆さんもご承知の通り、従前、高知市及び社協さんからの情報提供のあり方といたしましては、我々で言いますと健康福祉部を始めこども未来部の関係各課およびボランティアさんで言いますと社協さんですね、それぞれ冊子ですとかパンフレットといった形で情報提供してございましたけれども、支援を必要としている方々からしてみれば、どこに何を書いているか分からないといった側面もございましたので、こういった課題への対処といたしまして、そういう支援情報を例えば自宅周りにこういったものがあるのかといったことの情報にスムーズにアクセスできるようにインターネットを活用して閲覧できるとそういった仕組みを構築したところでございます。今年の1月末の制度のスタートの時点では約2,700件の情報を搭載してスタートしておりますけれども、今後情報サービスの更なる充実に努めていきたいと考えておりますので、障害者計画推進協議会委員の皆さんにもぜひ積極的にご活用いただ

きまして、何かお気づきの点等ございましたら健康福祉総務課の方にお寄せをいただければ幸いです。本日お配りいたしました資料といたしまして、この高知くらしつなぐるネットのチラシをブルーの一枚物の資料になりますけれども、また皆さま分もご用意しておりますのでまたご覧いただきましてご活用いただければと考えております。私からは以上です。ありがとうございました。

(司会)

委員の皆さま、本日は活発なご協議をありがとうございました。事務局の方より本来本日出席予定でありました健康福祉部長村岡部長と豊田理事が新型コロナ対策によりまして本協議会を欠席していることをご了承ください。本年度の協議会が本日にて終了となります。来年度につきましては計画更新の年となっておりますので委員の皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。以上を持ちまして令和元年度第2回高知市障害者計画等推進協議会を閉会いたします。委員の皆さまありがとうございました。